

令和4年度

上田市立中塩田小学校 自己評価シート 後期

A:十分達成 B:ほぼ達成 C:やや不十分 D:不十分

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)		総合評価						
よく考え、 工夫する子ども 人やものに やさしい子ども 進んで取り組み、 やりぬく子ども	笑顔あふれる 中塩田の子 ～一人になれる 一つになれる～		後期、アンケートで授業のわかりやすさや板書の見やすさをあげる子どもが多く、職員の意識して取り組んできたことが子どもたちの学習に結びついてきていることがうかがえる。子どもたちは、コロナ禍の活動の制限の中でできることを工夫して行うことで、学習や活動の中で「よく考えて行動できた」「友だちと交流できた」と実感している子どもが多い。半面、職員や保護者のアンケートでは、より活発に交流活動を行ってほしいと願う意見もある。来年度は、挨拶や、異年齢・地域交流などを通して、「挨拶ができる」「自分で考えて行動できる」「しっかり掃除ができる」と自信をもち、自分から進んでよりよい学校生活を送る子どもを育てることができるよう努めたい。						
	今年度の重点目標		成果と課題		A	B	C	D	改善策・向上策
	①	よく聴いて、自分の思いを表現できる子(話す・かく)	授業の振り返りをはじめ、各教科で子どもが「書きやすい」ように工夫したり、練習したりする取り組みを行ってきた。 まずはしっかりと「聴くこと」の意識作りや「書くこと」への抵抗感を払拭できるよう工夫をしていくことが課題である。					○	「よく聴く」ための姿勢づくりや、グループ学習など工夫して、書いたり話したりして表現できる場面を設けていく。
	②	自分から挨拶し、相手も大切にすること(温かい言葉・思いやり)	友を気遣うあたたかい言葉や思いやりの声がけは、それぞれの場面でできているが、挨拶については、今後「自分から」を意識して、積極性を伸ばしていくことが課題である。				○		互いを大切にすることでも挨拶について考える機会を設けたり、児童会と連携して取り組んでいく。
	③	友と協力し合い、作業や活動に根気よく取り組む子(黙々活動)	決められた活動について、個々の取り組みが明確になると最後まで取り組める姿が見られた。黙々活動の中核である清掃では、より静かに集中して清掃活動に取り組めるようにすることが課題である。				○		作業や活動に根気よく取り組む子どもの姿を広めるとともに、より静かに清掃活動に取り組むことができるよう工夫していく。

領域	対象	評価の観点	評価方法	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
重点目標	①	A わかりやすい板書	「学習問題」「まとめ」を板書計画に位置付け、1時間の授業の流れが分かる板書を心がけているか。	アイウエオ	学習の流れを教科ごとパターン化したり、いつも同じ位置に「学習問題」「まとめ」などを提示したりして、子どもが授業の流れを視覚的にとらえられるように心がけ、授業の見通しがもてるように配慮した。	○			子ども達が視覚的に授業の流れをとらえる板書を心がけ、1時間の授業の流れを提示できるようにしていく。
		B 振り返りの時間の確保	1時間で学べた内容や学び方を振り返る時間を確保し、子どもの考えの委容や定着状況を確認しているか。	アイウエオ	振り返りの観点を明確にして示し、子どもが記述しやすくなる工夫をした。また、低学年では、マークや拳手などの振り返りにも取り組んできた。しかし、追究の時間が延びるなどして時間を確保できない時まだ見られる。			○	子どもが、授業の中での意見や考えの委容や伸びを記録したり、振り返ることができる振り返りの時間を、今後も工夫し、確保できるようにする。
		C 家庭学習の充実	家庭学習の手引きをもとに、家庭と連携した家庭学習の充実に向けているか。	アイウエ	今年度、「家庭学習の手引き」を配布した後、学級懇談会など多くの保護者の方に直接発信する機会がもてなかった。しっかりと説明して、共通理解の上で、家庭と連携して取り組むことが大切である。			○	家庭との連携が大切な部分であるため、4月の学級懇談会で共通理解を図る。自主学習の内容の充実を図りたい。
	②	D 楽しくけじめある学校生活	「挨拶・返事・場に応じた姿勢」を大切にし、児童会と連携して安全、安心、快適な学校生活に向けて取り組んでいるか。	アイウエオ	コロナ禍での制限が長く続き、児童会との連携を進められなかった部分が多かった。児童会を通して、学校内の生活の改善等、子どもの自治力を培うことができるようにしていきたい。			○	多くの場面で子どもの言葉で呼びかけることを通し、子どもの自治力を培うことができるように計画していく。
		E 異年齢の友だちとの活動	なかよしタイム、なかよし読書などの異年齢活動を通して、子ども同士が温かい言葉をかけ合い、相手を思いやる意識が高まったか。	アイウ	少ない交流機会の中で、できる限りの交流を行い、充実感をもっている子どもも多かった。できることを見出して活動できるようにたくさん工夫していくことが大切である。			○	来年度は、コロナ関係の制限が緩和されることを見越し、活動が活発に行えるよう準備していく。
		F 交流活動の充実	地域の方々や園児・福祉施設の方々との交流活動に児童が楽しんで関わり合えるよう取り組んだか。	アイウオ	一部、社会見学や総合的な学習の時間等で地域の方と交流しながら、学ぶ機会を持つことができた。			○	来年度は、コロナ関係の制限が緩和されることを見越し、活動が活発に行えるよう準備していく。
	③	G よく考え行動する児童の育成	よく話を聴き、深く考え、自ら気づいて行動する気持ちを高めるか。	アイウ	学習や活動の中で、個々が主体的に取り組む姿も多くなってきた。それらができている子どもの良さを職員が広げていくことで、自己肯定感を高めていきたい。			○	よく考え、自ら活動している姿や陰でみんなを支えている姿などを広げ指導していく。
		H 体力向上の継続的な活動	マラソンや縄跳びを取り上げ、進んで継続的に体力向上に向けた活動ができるよう指導を工夫できたか。	アイウ	マラソンには、月間や体育の時間のウォーミングアップなどで取り組むことができた。全校体育ではTV放送で身体みがきに取り組めた。全校で継続的に運動に取り組む機会が少なかったため、今後は継続的に体を動かして体力向上を図りたい。			○	全校で継続的に運動に取り組むことができる活動を仕組んでいく。併せて運動委員会から子どもの声での発信していく。
		I 仕事に対する意識の醸成	清掃活動や当番活動・係活動、花壇での花作り等を通して、役割を担うことの大切さや仕事に対する意識を醸成したか。	アイウエ	係活動や児童会当番活動に責任をもって取り組んでいる姿が多くみられる。清掃活動については、学級学年に任せるのではなく、全校をあげて取り組んでいきたい。			○	黙々活動の一つである静かに掃除については力を入れて取り組みたい。
	学校運営	J 学校支援ボランティアとの連携	地域ボランティアとの連携を通して、読書・学習・体験活動・交通安全に対する意識を高めたか。	アイオ	感染拡大防止のために、学校支援ボランティアの参加が制限されてしまったため、関わっていただく機会が十分に取れず、残念であった。			○	来年度は、コロナ関係の制限が緩和されることを見越し、活動が活発に行えるよう準備していく。
		K 授業のユニバーサルデザイン化	一人一人の子どもにもわかりやすい授業となるように、学習環境を整えることができたか。	アイウオ	視覚支援や選択制のプリントなどを日々の学習に取り込んで授業準備を行うことができた。準備に時間がかかるため教材等の共有が行えるようにして、さらに効率よく学習環境を整えることができるようにしていきたい。			○	教材を共有できるようにすることでより良い授業のUD化を図っていく。
		L 職員研修の充実	子どもから学び、子どものための授業にするために、教職員が互いの実践に学び合いながら研修し、授業に生かすことができたか。	アイ	ICT研修や学年での授業研究、UD化授業研究等で互いに学びあうことができ、子どもの学習活動に活用できたことが多い。さらに互いの授業を見合う時間を大切に、教授行為を高めていきたい。			○	職員間の学びも大切にしながら、子どもの学びにつながる研修を積んでいく。
		M いじめへの対処	いじめを防止し、いじめが起きた際、適切に対処することができているか。	アイウエオ	児童からスピーディーに話を聞き、情報共有をしながら解決に向けての取り組みを行えた。また、日々の生活の中で、より丁寧な児童の様子を見ていくようにしたい。			○	より相談しやすい雰囲気を作っていくように努力する。情報共有を密にしながら、より迅速に対応していく。

評価方法 ア…教師自身による評価

イ…学校長による評価

ウ…児童による評価(アンケート)

エ…保護者による評価(アンケート)

オ…学校関係者・学校評議員による評価(アンケート)